

CIRJE Newsletter

東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターニューズレター

No.30

2022年4月

Center for
International Research on the
Japanese Economy (CIRJE)
Graduate School of Economics,
Faculty of Economics
The University of Tokyo

ワークショップ活動報告

日本経済国際共同研究センター(CIRJE)には、経済学研究科教員を中心に運営される14のワークショップが登録されています。一部は授業として開催されており、経済学研究科と連携を取りながら活動しております。2021年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に引き続きほぼすべてのワークショップ、研究会がオンラインで開催されました。従来と異なるコロナ禍での活動内容について、「財政ワークショップ」担当教員よりご報告いたします。

財政ワークショップ

財政ワークショップ幹事

財政ワークショップは月に1回をめぐり定期的に開催され、財政、社会保障、その他の公共経済学に関心を寄せる研究者・大学院生を集め、報告と意見交換の場を提供しています。経済学に基づいた研究の報告が中心ですが、それだけではなく政策担当者・実務家による報告や、歴史的・制度的研究の報告を含めることもあります。本ワークショップが重視していることの一つは、財政分野の若手研究者に活動の場を提供することにあります。というのも、大学院生や若い教員は研究資源に恵まれず研究発表や交流の場が限られることが往々にしてあるからです。そこで本ワークショップでは若手研究者を積極的に招聘して研究交流を行う場を提供しようとしています。

2020・2021年度には新型コロナウイルス感染症の拡大によって対面での開催が制限されたことから、Zoomを使ったオンラインでの開催に切り替えています。当初は部外者の侵入などに戦々恐々としていましたが、CIRJEスタッフの強力な支援を得て全面的なオンライン移行に成功し、対面と変わらない報告の機会を維持してきました。オンライン化のメリットとしては、報告者・参加者の地域的な分布の広がりが挙げられましょう。2019年度以前は本学経済学研究科や公共政策大学院の教員・大学院生、首都圏の大学等の研究者の参加がほとんどでしたが、オンライン化したことにより、首都圏外からの積極的な参加が見られました。また、通常は夕方開催しているところ、時間を変更することにより海外の研究者の発表も増え、アメリカやオーストラリアからの報告もありました。他方でオンラインでは、参加者の自発的な雑談や交流には自ずと限界があるように感じられました。もちろん、Zoomのブレイクアウトセッション機能や、その他のオンラインサービスを利用することは可能ですが、対面での自然な雑談のようにはいかないようです。

2021年度に発表されたトピックとしては、オンライン実験を用いた政策選好の形成についての実験、新型コロナウイルス感染症が拡大する局面における医療機関の行動や移動に対する税や補助金の効果、自然災害と選挙、法人税と人的投資といったものがあり、とくに新型コロナウイルス感染症に関する政策分析は多くの参加者の強い興味を引くものでした。

CIRJE Newsletter

目次

ワークショップ
活動報告

財政ワークショップ

客員研究者紹介

CIRJE
ディスカッション
ペーパーシリーズ

客員スタッフ

スタッフ

客員研究者紹介

当センターには、研究者を受け入れるための複数のポジションがあり、世界各地から研究者にご来訪頂いております。「短期客員研究者」に関しては、公益財団法人野村財団からのご寄付により、国内外から多彩な研究者の皆様をお招きしております。今回は、2021年度にお越し頂いた「客員教授」「短期客員研究者」の皆様に、滞在時の活動内容をご報告頂きました。

客員教授

一橋大学大学院経済学研究科

加納 隆



福田慎一教授にお招きいただき、2021年4月から2022年3月までの1年間、CIRJEに滞在することができました。2020年から始まったコロナ禍は、2021年に入ってなお終息の気配がなく、緊急事態宣言が繰り返し発令される異常な社会状況の中での滞在でした。自宅からのリモート滞在という異例の対応をいただき、感染防止対策の煩わしさを避けつつ研究に注力することができた点、大変感謝いたします。

コロナ禍下において、研究教育環境はオンラインを中心としたものに移行せざるを得ませんでした。それを可能にした近年の情報通信技術の著しい進歩と、それを短期間に習熟する人々の適応力の強さを目の当たりにしました。実際コロナ禍前の2020年年初、私はZoomなどのオンライン会議システムを全く知りませんでした。それが今ではそれなしでは日々の研究教育活動も大学業務も支障を来すほど、社会インフラとして世界中で柔軟に使いこなされていることに驚きます。

一方で、オンラインにおけるコミュニケーションには、まだ物足りなさも感じます。人から人への情報の流れには様々な経路があり、オンラインだとその経路がかなり限定されてしまうからかと想像します。現在、研究教育の現場が再び対面に戻りつつあることは、現状のオンライン技術の限界を端的に示しているのかもしれませんが。この点CIRJEに物理的に滞在し、多くの研究者とin personなコミュニケーションを取れなかったことは心残りでした。

CIRJE滞在中は、1972年5月の沖縄本土復帰前後で実施された小売物価統計調査のマイクロデータを活用し、1971年8月のニクソン・ショック後の急激な米ドル切り下げが、沖縄の経済厚生にどのような影響を与えたのか実証分析を進めることができました。ニクソン・ショックと沖縄本土復帰という戦後の歴史的な出来事から50年目の節目に、CIRJEのディスカッションペーパーとして研究成果を公表できたことを大変うれしく感じています。

短期客員研究者

名古屋大学経済学研究科

María Martín-Rodríguez



2021年4月にCIRJEへ滞りましたが、パンデミックが未だ進行中で、多くの研究活動はオンラインで行われておりました。この入国の困難な時期に日本にいられたことに嬉しく思いますし、キャンパスを訪れることができたことは幸運でした。ホストで共著者のDaniel Marszalec氏には、滞在を計画し、細やかに面倒を見ていただいたことに大変感謝申し上げます。また滞中の事務手続きをお手伝いいただいた事務の皆様にもお礼申し上げます。研究環境は大変素晴らしく、設備の整った客員用のオフィスとホストの研究室を自由に行き来することができました。

パンデミックは数か月続きましたが、オンラインセミナーへや個別面会にご参加くださるなど、研究科の皆様は熱心に関わってください、時間を空けてくださいました。セミナーも、共著者と私がそれまで参加した中でも最も生産的なものであったと自信をもって申し上げます。また議論の間にも、論文に取り入れた貴重なご意見をいただきました。

CIRJEでの在任中、私は、(i) 非対称的コストの交渉ネットワークに関する論文を発表いたしました。これは不均衡で安定的な要素の構造特性に対して主に我々が寄与するものです。また、(ii) ホストであるDaniel Marszalec氏とともに、両面市場(two-sized market)および著作権侵害に関する論文の改善を継続的に行いました。

The Hong Kong University of Science and Technology

青柳 潤



2021年5月-7月にかけて CIRJE の短期客員研究者として滞在させていただきました。東京大学のみならず他大学の研究者とも交流する機会に恵まれ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。また、長期にわたり米国を拠点に研究をしていたため、特に国内の若手経済学者と繋がりを作ることもできました。コロナ禍における滞在ということもありセミナー等はオンラインでの参加になってしまいましたが、個々の面談に関してはあまり制限されることなく対面で議論ができたのもありがたかったです。

滞在中は、主に仮想通貨やブロックチェーン、分散型の取引所に関する研究を進めましたが、その関係で東京大学のデジタルエコノミープロジェクトに参加させていただく等、今後につながる収穫も多々ありました。

受け入れの調整をしていただいた青木先生、若森先生、服部先生、また快適な環境を提供していただいた CIRJE のスタッフの皆様、また滞在中の研究資金を提供していただいた公益財団法人野村財団にはこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。

宇都宮共和大学シティライフ学部

今 喜史



福田慎一先生にお声掛けをいただき、CIRJE にて国際資本移動が賃金格差に与える影響を分析する理論研究を進めました。新型コロナウイルス感染症の状況が変化したことを受け、当初の予定を変更して滞在期間を 2022 年 2 月と 3 月の 2 回に分けることになりましたが、快適な研究環境を整えていただきました。滞在中のミーティングでは福田先生から、論文で示した結果の解釈や先行研究との関連などについて多くのご指摘をいただき、研究の進展へとつながりました。

本郷キャンパスで過ごすのは、大学院経済学研究科に在籍していたころ以来でした。学内のさまざまな変化に年月の流れを感じつつ、昔と変わらない医学部 2 号館との間にある広場のベンチで一息入れたりと充実した日々でした。

CIRJE スタッフの皆様には、資料検索のサポートや論文校正の手続きなど、迅速で的確なご対応をいただき心より感謝申し上げます。また、公益財団法人野村財団より研究費の助成をいただき、研究に必要な文献や備品の購入に充てさせていただきましたことにこの場を借りて御礼申し上げます。

信州大学経法学部

広瀬純夫



2022年2月、福田慎一先生にお招き頂き、CIRJE で研究する機会を頂きました。残念ながらオミクロン株流行の時期に重なってしまい、研究の相談をする機会を、あまり作れませんでした。ただ、普段の職場を離れ、気分を一新して研究に取り組むことで、新しいアイデアを見出すこともできました。何より、CIRJE のお二人のスタッフが、快適に過ごせるようにご配慮くださったこと、御礼申し上げます。私の研究テーマである日本企業の内部留保蓄積については、研究開発など「攻めの投資」に資金が流れていないとの批判がなされています。こうした問題意識の下、スチュアードシップ・コードが導入されました。機関投資家によるモニタリング強化することで成長投資を促し、長期的に企業価値が上昇することが期待されています。機関投資家が、収益性の低い企業の株主総会で反対票を投じることなどが注目を集めていますが、先行研究では、異なる指摘もなされています。短期的な収益の低下で、経営者が責任追及される恐れがあると、リスクを伴う成長投資に消極的になる可能性があります。そこで、機関投資家が長期的な視野に立って経営者を支持し、解任される不安を取り除くことが、研究開発投資を積極化させることを明らかにしています。日本での機関投資家の行動は、成長投資促進に貢献しているのか、CIRJE 滞在中に整理したアイデアで、今、分析を進めているところです。

CIRJE ディスカッションペーパーシリーズ

http://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/03research02dp_j.html

当センターでは2つのディスカッションペーパーシリーズ（Jシリーズ：日本語、Fシリーズ：外国語）を刊行しており、2021年4月から2022年3月の期間で、Jシリーズ4件、Fシリーズ24件が刊行されました。発行されたディスカッションペーパーは上記のホームページからダウンロードすることも可能です。

客員スタッフ

当センターの重要な役割の一つに、海外からの研究者の受け入れと研究交流促進があります。国内外の優秀な研究者を様々な分野からお迎えして研究活動を行っております。下記のリストは2021年度に来訪された客員スタッフです（所属は在籍当時）。

客員教授

■ 加納 隆 (2021.4.1 - 2022.3.31)
一橋大学大学院経済学研究科, 日本

■ 内田交謹 (2021.11.4 - 11.6) * 野村財団・奨学研究員 *
九州大学経済学研究院, 日本

■ 松田一茂 (2021.11.9 - 11.13) * 野村財団・奨学研究員 *
神戸大学大学院経済学研究科, 日本

短期客員研究者

■ María Martín-Rodríguez (2021.4.4 - 4.10)
* 野村財団・奨学研究員 *
名古屋大学経済学研究科, 日本

■ Pui Tak Lee (2021.12.14 - 2022.1.14)
School of Modern Languages & Cultures, University of Hong Kong,
Hong Kong

■ 栗田高光 (2021.12.15 - 12.18) * 野村財団・奨学研究員 *
福岡大学経済学部, 日本

■ 青柳潤 (2021.5.18 - 7.15) * 野村財団・奨学研究員 *
University of California, Berkeley, USA

■ 今喜史 (2022.2.8 - 2.18) * 野村財団・奨学研究員 *
宇都宮共和大学シティライフ学部, 日本

■ 高橋秀典 (2021.7.1 - 2021.8.25)
大阪大学大学院国際公共政策研究科, 日本

■ 広瀬純夫 (2022.2.10 - 2.16) * 野村財団・奨学研究員 *
信州大学経済学部, 日本

スタッフ

教授



佐藤泰裕



下津克己



高崎善人



青木浩介
(センター長)



福田慎一

顧問

岡野貞彦 (経済同友会事務局長・代表理事)

翁 邦雄 (大妻女子大学特任教授)

加藤淳子 (東京大学法学部・大学院法学政治学研究科教授)

清滝信宏 (プリンストン大学経済学部教授)

宮尾龍蔵 (神戸大学大学院経済学研究科・経済学部教授)

運営委員会

運営委員長

青木浩介 (センター長)

運営委員

粕谷 誠・澤田康幸・下津克己・谷本雅之・福田慎一

CIRJE Newsletter No.30

東京大学大学院経済学研究科附属

日本経済国際共同研究センター

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

tel +81-3-5841-5644 fax +81-3-5841-8294

<http://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/indexj.html>